目 次

序	章 女性たちのエンパワーメント
	I 問題の所在と研究目的 I
	Ⅱ 研究方法 6
	2-1 調査の概要 7 2-2 調査方法 13
	Ⅲ 本書の構成と概要 17
	第【部 日本の労働市場と女性の能力形成
第	1 章 就労支援とジェンダー23
	I 先行研究の検討 23
	1-1 日本の労働市場と企業内訓練 24 1-2 女性と公共職業訓練 26 1-3 就労支援におけるジェンダー視点の欠如 30
	Ⅱ 母子世帯の女性たち 32
	2-1 母子世帯の女性たちの生活実態 33 2-2 母子世帯への就 労支援と職業訓練 35 2-3 複合的な要因の交差性 37
	Ⅲ 社会関係資本の先行研究 38
	3-1 つながりと「場」 39 3-2 社会関係資本とジェンダー 42
	Ⅳ 小括 43
第	2 章 エンパワーメント概念の整理
	I 主要なエンパワーメント研究の系譜 47
	Ⅱ カビールによるエンパワーメント 60
	Ⅲ 「力 (power)」の3分類 61
	IV 「力 (power)」の獲得における3つの側面 67
	V 本研究での「力 (power)」の枠組みの適用 70

第 Ⅲ 部 求職者支援制度の創設と概要

第	3	章	公共職	業訓練。	ヒ求職	者支援	訓練 ·				7
	Ι	公	共職業訓	練の概要	要 7	7					
				战業訓練の は業安定所			1 - 2	公共職業	訓練の種	重類	80
	II			発促進 練法から				8 ₄	2 - 2	職業自	制
		開発化	足進法の		5 2	- 3 求職		・ 送法の目的		,	2,4
	III	求	職者支援	髪制度の創	創設	89					
		91	3 - 3	求職者支	援制度の	の政策的	矛盾	2 求職 94 ³ 95 94 96 97 98 98 98 98 98 98 98 98 98 98	3-4 求	な職者 ま	
		3 - 6	求職者	支援制度	の課題	101					
	IV	小	括	105							
第	4	章	職業訓	練科目の	の考察						10
第				練科目の			•••••				100
第	Ι	性	別職域分		09		•••••				100
第	Ι	性 職 2-1	別職域分業訓練科	か離 I 計目と内容	09 容 I 託訓練	II		女性向			
第	I	性 職 2-1 2-3	別職域分 業訓練科 離職者 求職者	↑離 I 計目と内容 計訓練の委 〒支援訓練	o9 容 I 託訓練 II6	112	2 - 2		け委託訓		
第	I	性 職 2-1 2-3 日 3-1	別職域分業訓練和 離職者 求職者 本標職者	か離 1 計目と内容 計練の委 対表 対数 対数 対数 計練の委	o9 容 I 託訓練 II6 を用いた	111 112 ご職業訓 D職業小名	2-2 練科目 [}] 類	女性向	け委託訓 122 3-2 女	練な性向に	II4 }委
第	I	性 職 2-1 2-3 日 3-1	別職域分業訓練和 離職者 求職者 本標職者	か離 1 計目と内容 計練の委 対表 対数 対数 対数 計練の委	o9 容 I 託訓練 II6 を用いた	111 112 ご職業訓 D職業小名	2-2 練科目 [}] 類	女性向 の分析 122	け委託訓 122 3-2 女	練な性向に	II4 }委
第	I	性 職 2-1 2-3 日 3-1 託訓	別職域分 業訓練者 求職者 求職者 本標準職者 離職者 練の職業	か離 1 計目と内容 計練の委 対表 対数 対数 対数 計練の委	o9 辞 I 託訓練 II6 を用いた 託訓練の I24	111 112 ご職業訓 D職業小分 3-3	2-2 練科目 [}] 類 求職	女性向 の分析 122	け委託訓 122 3-2 女	練な性向に	II4 }委
第	I III	性 職 2-1 2-3 日 3-1 託訓 ¹²⁵ 職 4-1 4-3	別業 離職 準	か離 1 計目と内容 計画線の動類 大業 計画を 計画を 計画を 計画を 計画を 計画を 計画を 対面を は に に に に に に に に り に り に り に り に り に り	og 容 I 託訓練 I16 を用いた 託訓練 で 正 立 る 取 こ 124 こ こ の 高 い 記 の の こ の こ の こ の る の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら	111 112 ご職業訓 歌業小グ 3-3 哉業 4-2	2-2 練科目 分類 求職 128 : 非正	女性向 の分析 122	け委託訓 122 3-2 女 川練の職 割合	練 で性向 <i>に</i> 業 小 分	114 }委 }類

第 Ⅲ 部 女性たちのライフヒストリー

第	5	章 学卒から訓練受講前まで	143
	Ι	職業訓練前のキャリアと訓練での経験 143	
	Ž	1-1 青山さん:離婚後に正社員を目指す 144 1-2 結城さん: 未婚での出産選択 146 1-3 加藤さん:子育てのために離職 148 1-4 木村さん:大学受験を経て契約社員へ 150 1-5 有村さん:結婚のために転職 152 1-6 和田さん:介護による失業 154	
	II	困窮している女性と職業訓練 155	
	ì	2-1 貧困に至る要因 156 2-2 訓練を受けるまでのキャリア 160 2-3 職業訓練科目の選択と就職活動 163 2-4 職業訓練の「場」 棟の「場」 170 2-5 職業訓練の受講による効果 173 小 括 174	
	Ш	7) 1 <u>1</u> 1/4	
第	6	章 訓練後から約10年間のキャリアの変遷	179
	Ι	職業訓練後のキャリア 179	
	Ţ	1-1 青山さん:他者とつながる力 179 1-2 結城さん:未来に 同けて挑戦し続ける力 180 1-3 加藤さん:自ら学ぶ力 182 1-4 木村さん:経済的に自立する力 184 1-5 有村さん:自分 らしさを選択する力 185 1-6 和田さん:生涯働き続ける力 186	
	${\rm I\hspace{1em}I}$	社会で働いていくこと 188	
	5	2-1仕事に求めるものの変化1892-2雇用形態についての不安安 1922-3長期的な視点の獲得1962-4女性たちのつながりつながり198	
	${\rm I\hspace{1em}I\hspace{1em}I}$	「力(power)」の獲得と変化のプロセス 201	
	IV	小 括 206	
終	章	t 職業訓練が拓く女性のエンパワーメント	211
	Ι	本研究全体を振り返って 211	
	II	職業訓練の「場」としての意義 214	
	${\rm I\hspace{1em}I\hspace{1em}I}$	ジェンダー視点からみた職業訓練 215	
	IV	女性たちのエンパワーメントのために 219	

V 本研究の意義と残された課題 225

参考文献 229

初出論文一覧 245

資 料

資料1 求職者支援訓練 医療・介護事務科 訓練日程 247 資料2 求職者支援訓練後に想定される職業職種分野一覧 249

あとがき

索引